

令和5年春号
仙台市議会議員(泉区)

細野 たかし



発行：市民フォーラム仙台 編集：細野たかし 〒981-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1

令和5年2月10日から3月14日まで令和5年度仙台市議会第1回定例会が開かれました。

本定例会では、今年の4月からの令和5年度仙台市予算の審議が行われる「予算等審査特別委員会」が開催され、本市財政の使い道と事業内容についての質疑が行われました。

現議員であります我々の任期は2019年からの4年間であり、今予算委員会が任期中最後の予算委員会となります。私としても悔いの残らないよう、仙台市当局に対し想いをぶつけました。引き続き、任期終了まで市民の皆様の地域課題解決に向け活動を続けて参ります。

細野 たかし プロフィール

- 1981年(昭和56年)3月生まれ(42歳)
- 岩手県盛岡市出身 泉区館4丁目 在住
- 家族：妻、長女、長男、次女、犬1頭
- 2019年(令和元年)8月仙台市議会議員選挙 初当選
- 館中学校PTA会長
- 館4丁目西町内会 副会長
- やかたおやじの会「パンプキン」副会長
- 仙台市泉消防署 小角消防団 団員
- 自治労仙台市職員労働組合 特別執行委員 (組織内議員)
- 自治労宮城県本部 特別執行委員

令和5年3月2日 仙台市議会 予算等審査特別委員会 抜粋・概要

○ 児童館・児童クラブ業務支援システムの導入について



これまで市民ニーズの拡大とともに国の「子ども子育て支援新制度」の施行に伴い、児童クラブの受け入れ学年が6年生までとなり現場ではこの間の人員不足により窮地に追い込まれています。職員による出欠確認や児童の連絡帳等への手書きが基本でしたが、現在はその時間すら取れないほど人員が不足しています。本市では過去にICT化を進めるべく児童の入退館管理を自動化するため試験的に顔認証機器を設置した経緯がありますが、残念ながら機能しませんでした。そうしたなか、今予算で児童の入退館管理

による業務効率化を図る予算が計上されたため、その内容について質疑いたしました。答弁では顔認証ではなく児童が持つ2次元コードのカードによって管理するとのことでしたので、その運用方法について質疑を行いました。

○ 児童館・児童クラブのあり方検討部会について

私が本市の児童館職員であった頃から、やりがいはあれど低賃金のまま市民ニーズの名のもとに受け入れ基準の緩和や既存事業が崩されていくこと、そして何よりも業務量が増加していくことに納得が行きませんでした。その間、「仙台市の児童館事業における将来ビジョン」が見えず、ずっと求めて来た経緯があります。

今回、ようやく「あり方部会」が創設されたこともあり大いに期待するところではありますが、現場の課題をどう吸い上げるのか、また理想論でこの部会が終わってしまわないか引き続き注視が必要です。



○ 児童館職員の処遇改善について

本市がめざす児童健全育成において、優秀な児童館職員は欠かせません。国が保育所の待機児童ゼロを達成したことは評価しますが、卒園後はそのまま児童クラブにスライドします。残念ながら児童館の環境は現況に見合った整備が追い付いていません。受け入れ児童のなかには個別支援が必要なお子さんも増えており、その対応ができる専門知識を持つ職員が求められます。引き続き専門知識を持つ職員と、それを学ぼうとする職員を長期的に雇用できる賃金水準を確保できるよう活動を進めて参ります。

実際の質疑内容は仙台市議会ホームページでご視聴いただけます。

https://sendai-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=play_vod&inquiry_id=6238



お困りごとや課題を
お聞かせください

仙台市議会議員 細野たかし 市政広聴シート

※ メールでもお受けしております。スペースが足りない場合は任意の用紙に続きをお書きいただき一緒に送信ください。

お名前 (ふりがな)

ご住所 〒 _____

電話番号 _____

お困りごと・課題など

専用FAX. **022-778-8665**



hosono@dune.ocn.ne.jp

いただいた情報をもとに調査し、地域の問題解決に活かしてまいります。